

大仙市公共施設等総合管理計画

全体計画(案)・個別計画(案)

パブリックコメントの結果について

平成28年11月25日
大仙市 総務課



1 意見等の募集期間

平成28年9月5日(月)から平成28年10月31日(月)まで

2 意見等の募集方法

次の4つの方法で募集した。

(1) 本庁、7支所、公民館等に備え付けた意見提出箱への投函(計22施設)

大曲地域.....大曲庁舎、大曲中央公民館、花館公民館、内小友公民館、
大川西根公民館、藤木公民館、四ツ屋公民館、角間川公民館

神岡地域.....神岡庁舎、神岡中央公民館

西仙北地域...西仙北庁舎、西仙北中央公民館

中仙地域.....中仙庁舎、中仙公民館(ドンパル)

協和地域.....協和庁舎、協和公民館(和ピア)

南外地域.....南外庁舎、南外公民館

仙北地域.....仙北庁舎、仙北公民館(ふれあい文化センター)

太田地域.....太田庁舎、太田文化プラザ(農村環境改善センター)

(2) Eメールでの提出

ホームページからご意見等の記入用紙をダウンロードし、総務課Eメールアドレス
に送信してもらった。 総務課Eメールアドレス soumu@city.daisen.akita.jp

(3) 郵送・FAXまたは直接総務部総務課への提出

〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号 FAX 0187-63-1119

(4) 地域協議会委員からの提出(計8地域協議会)

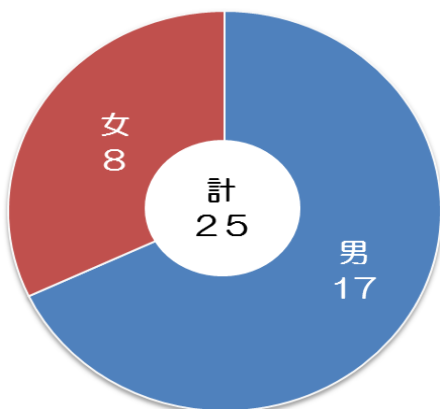
3 募集結果

ご意見をいただいた件数 25件

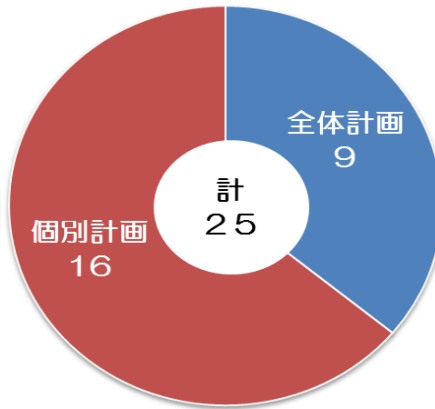
※すべてのご意見等に、市の考え方を付して市のホームページ公表するほか、市の広報
で一部を公表する。なお、意見提出者の個人情報公表しない。

※いただいたご意見等は、公共施設見直し検討委員会等の庁内協議を経て、計画内容へ
の反映、または今後の計画内容見直しの参考意見とする。

意見提出者 男女別件数



意見提出者 計画書区分件数



意見提出者 地域別件数



大仙市公共施設等総合管理計画(案)

パブリックコメントでいただいた意見等と市の考え方

平成28年11月25日
総務部 総務課

No.	ご意見等の要旨	大仙市の考え方
1	<p>①ペアーレ大仙の講座に参加しています。</p> <p>この度の公共施設等総合管理計画で、将来的にペアーレ大仙を民間移譲、休止、廃止等を含めて検討するとの記載を見て驚き不安を覚えます。多くの方がこの施設を気軽にそして信頼して利用しているのは、大仙市の公共施設であるという安心感があるからです。</p> <p>受講費用が最低限に抑えられているのが、大きな魅力の一つであります。沢山ある受講科目の中から選ぶ楽しみがあるのは、費用の面が多く、民間移譲された場合は受講を断念することになると思います。</p> <p>また、気軽にこの施設を利用できることで、多くのコミュニティが生まれています。私自身もこの施設に来ることで、近くのスーパーを利用したり、周辺の飲食店で友人と待ち合わせをしたりして、商店街を利用する機会が多くなりました。私と同じように行動される方は沢山おり、商店街の活性のためにもペアーレ大仙は大きな役割を果たしております。</p> <p>市の活性の中心施設となっているこの場所が、市で守られ、一緒に市民と共に歩んでいくことを心から希望します。(原文要約)</p>	<p>①ペアーレ大仙は、平成21年に市が年金健康保険福祉施設整理機構から買い取り、民間のノウハウを最大限に活用する指定管理者制度により、これまで「株式会社TMO大曲」が運営してきております。</p> <p>個別計画では、施設が築17年を経過していることから、設備補修等を平成29年度から3カ年で実施し、施設をできるだけ長く使用していく計画であります。</p> <p>しかしながら、平成40年頃には、施設は築30年となり老朽化が進むと見込まれることから、大規模な改修工事が必要になります。</p> <p>そこで、人口減少の状況や施設利用者のニーズなどを十分把握したうえで、これまでどおり指定管理者制度で運営する方法に加え、民間等へ施設を譲渡または売却し同様のサービスを提供してもらう方法など、様々な運営方法について、10年後の平成39年度から3カ年かけて検討していく予定です。</p> <p>この計画は、あくまでも現段階のものでありまして、今後の社会情勢や施設の老朽化の進み具合などを踏まえながら、計画の見直しを実施していきます。</p>
2	<p>①遊び場がほしい。</p>	<p>①豊富な資源を有効活用しながら、今後も集会施設や公園、文化施設やスポーツ施設などの充実・確保に努めていきます。</p>
3	<p>①花館公民館(大曲)は、利用者も多く、小学校や保育園と連携しながら運営されています。格式のある庭や茶室をうまく残してほしいです。</p> <p>②姫神公園(大曲)は、もっと見直しし、もっと利用されるべき公園です。眺めはずばらしいです。</p> <p>③中里温泉(太田)は、真木真昼県立自然公園を愛する全国のファンにとって、無くてはならない宿です。真木林道も早く復旧となり、花の百名山にふさわしい環境にしてもらいたいです。</p>	<p>①花館公民館は、築38年を経過しているため、平成35年頃の建て替えを検討していきます。併せて、敷地内にある茶室と庭園についても、今後の情勢を踏まえながら、より良い方策を検討していきます。</p> <p>②姫神公園は、使われない遊具の撤去やハコモノの姫神ハイツの補修等を行いながら、公園機能の存続を図ってきます。</p> <p>③中里温泉は、施設を改修しながら、今後も維持管理していくことを検討していきます。真木林道は、災害復旧工事のため、全面通行止めとなっていますが、平成29年度予定の工事が終了後に通行できる予定となっています。</p>

No.	ご意見等の要旨	大仙市の考え方
4	<p>①神岡地域の中心にある施設等は、各種団体や地域の人たちにも利用されることが多く、維持管理は大変だと思えますが、このまま継続して利用できるよう検討をお願いします。</p>	<p>①地域の皆さんの意見等を十分把握しながら、今後の大仙市にふさわしい公共施設のあり方を検討していくほか、安全安心に使用できるよう建物や設備の維持更新などを計画的に実施していきます。</p>
5	<p>①大仙市の地域区割を再編成し、予算の支出を併合できる建設物(児童館・町内会館・消防団設備を機能集約した多機能型の複合施設)を計画的に建設して活用する。 管理者は、地域利用者に責任を持たせる形を選択し、地域責任形態とする。 地域によっては、農産物及び加工品等の直営販売施設を併設して、地域産消費型とする。 現存する建物の使用限度を管理しながら、建て替えを計画する。建設後の管理コスト削減を図り、地域の健全化を目指す。</p>	<p>①現在市が保有している施設は、今後も有効活用を図っていきますが、施設ごとの利用者ニーズの把握や現在の利用形態、利用状況、ランニングコスト等を考慮しながら、多機能化や複合化などについても検討していきます。</p>
6	<p>①将来的に人口減少に伴う財源の確保も難しくなると考えられます。「無駄を省く」が一つの考えになると思いますが、どうか少数の意見にも耳を傾けてほしいと思います。</p>	<p>①地域の皆さんの意見等を十分把握しながら、今後の大仙市にふさわしい公共施設のあり方を検討していくほか、安全安心に使用できるよう建物や設備の維持更新などを計画的に実施していきます。</p>
7	<p>①支所の空きスペースの検討について、特に空きスペースが多い西仙北支所と協和支所は、具体的な検討年次を明記し、計画を進めてほしいです。</p>	<p>①支所の空きスペースにつきましては、現在、神岡支所と太田支所を除く5支所の庁舎で18団体に事務室として貸し付けしています。ご指摘の支所については、西仙北支所が3団体、協和支所が4団体に貸し付けしているところですが、まだまだスペースはあります。これらのスペースが有効活用されるよう、市役所内だけでなく、地域の皆さんとも協議を進めながら取り組んでいきます。</p>
8	<p>①廃止された施設の予算を、協和支所管内の管理費等にしてもらいたい。</p>	<p>①廃止施設にかかっていた維持管理経費については、個別の施設ではなく、市が保有する施設全体の更新経費の財源に充てる計画であります。したがって、協和地域の施設に対しても、有効に活用されることになっていきます。</p>
9	<p>①施設が古くなったからすぐその場所に建て替えるのではなく、第三者委員会を立ち上げ、どこにどのようなものを建設するか審議が必要だと思います。</p> <p>②私たちに身近な地域の集会所は、市の財政が厳しくなっても、維持費や修繕等の補助金交付は継続してほしい。</p> <p>③公共施設の建設にあたっては、デザイン等を追求せず、維持管理しやすい建物にすべきです。一例として、音楽交流館(旧北神小学校)の屋根の雪下ろしに苦慮しています。</p>	<p>①ご意見のとおりでありまして、地域や全市からの視点により、施設に関する検証及び方向性を十分検討していくようにします。</p> <p>②集落会館等に関する補助は、大仙市誕生以降継続して交付している補助金です。今後も制度を継続していくよう努めていきます。</p> <p>③ご意見のとおりでありまして、各施設の建て替えまたは新設の場合は、十分配慮して整備を進めていきます。</p>

No.	ご意見等の要旨	大仙市の考え方
10	<p>①中央、地方などの地域における活用の実態を把握する。 ②高齢化、人口減少などにより、「存続が必要か」、「廃止すべきか」の素案を提起する。 ③将来に向けての地域構想を明確にして、「必要不可欠の公共施設」を選別してみる。 ④集会所等については、集落におけるコミュニティの場の確保の視点から検討する。</p>	<p>①②③④ 今回の「大仙市公共施設等総合管理計画」の策定にあたっては、全施設の状態や運営コスト、利用者数などの現状を把握したほか、人口の将来推計、財政状況、今後必要とされる施設の更新経費などを見通しながら、平成58年度までの30年間の計画としています。また、市内8地域からの視点を十分に考慮し、全市のバランスを図りながら、存続や統廃合、複合化などのマネジメント計画を策定しています。</p>
11	<p>①消防格納庫など、廃止される施設にかかっていた費用を、協和支所の維持管理費にしていきたい。</p>	<p>①廃止施設にかかっていた維持管理経費については、個別の施設ではなく、市が保有する施設全体の更新経費の財源に充てる計画であります。したがって、協和地域の施設に対しても、有効に活用されることになっていきます。</p>
12	<p>①8市町村が合併して10年が経過しましたが、我が西仙北地域からは「合併してよかった」という言葉がなかなか聞かれないのが現状です。というのは、市の中心である大曲は、駅周辺の開発事業や厚生医療センター、福祉エリアの建設等で活気を取り戻しつつありますが、それ以外の地域は、まだまだ合併しての恩恵に浴していないのが実情ではないでしょうか。</p> <p>西仙北地域に目を向けてみますと、中央公民館の改築計画が構想されています。築35年を経過し、耐震強化も難しいことから、現在の建物の改修は不可能のようです。</p> <p>公民館は、地域における生涯学習、社会教育の拠点であります。人口減少も進み、昔ほどの事業参加者はいないものの、市内の公民館と比較しても利用、活動実績は多いと確信しています。</p> <p>したがって、今の中央公民館を残したまま、向かいに新公民館を建設し、活動事業等を休ませることなく運営していく必要があると考えます。そして、中央公民館と大綱の里伝承館（現綱作業場）を解体し、駐車場と合わせた広場は、冬場は大綱づくりの現場や雪捨て場、夏場は市民憩いの広場公園または大規模災害等の避難所や仮設住宅設置、緊急ヘリポートとして活用できると思います。</p> <p>一部の意見に、西仙北支所の空きスペースを活用する案が出されているようですが、開放時間（夜間開催の事業等）や個人情報保護の関係、さらには教室や講座等開催に伴うスペースの改修費用など、問題が多すぎることから不可能と考えます。国や地方自治体の財政状況を鑑みると、新しいハコモノは考えるべきところもありますが、スクラップアンドビルドというように今必要として手がけておかなければ後世の地域発展は望めないと考えます。</p> <p>どうせ建てるのであれば、中途半端な施設ではなく、いろいろな角度から検討をし、住民が納得できるような新施設が早期に完成できるよう期待します。 （原文要約）</p>	<p>①西仙北中央公民館は、昭和54年に造られ、築37年になっている建物です。今回の計画では、平成30年度を目途に建て替えるマネジメントとなっており、現在、既存建物の耐震診断や新施設をどのようにするかなどの検討を実施しているところです。</p> <p>公民館は、社会教育や生涯学習の面だけでなく、コミュニティや地域のまちづくりの観点など市民が多機能に使える施設またはエリアに位置するのが理想とされています。</p> <p>現在、市だけでなく地域住民からの意見等を取り入れながら、最もふさわしい新施設の規模や機能性など多方面による検討を実施中であり、原案等がまとまり次第、随時皆さんにお知らせします。</p>

No.	ご意見等の要旨	大仙市の考え方
13	<p>①合併するする前に西仙北町民は言っていました。神岡、協和だけハコモノを建てて、西仙北は何もできないと。なのに、ここに来て、中央公民館の建築の話が出ている何年も前から話が進まず、議論だけ、人の足を引っ張るだけ、悲しいです。そして今、中央公民館を建てないで、西仙北支所に入ったらと言う声も聞きますが、現状どおりのことができますか？支所にはプライバシーを守らなければならないことが山ほどあると思います。調理室で料理講習会、会議後の飲酒など、昼夜使用可能にさせていただけますか？保護者会議、町内会会議など夜の会議も多いです。中央公民館は老朽化がひどいです。ぜひ建設をお願いします。</p> <p>②会場使用料については、使用する側に無料はありがたいですが、これからの時代はきっちりと使用料は徴収し、財源に充てるべきと思います。</p>	<p>①西仙北中央公民館は、平成30年度を目途に建て替えるマネジメント計画となっており、現在、既存建物の耐震診断や新施設の規模、機能性などについて検討を重ねている最中なので、原案がまとまり次第、随時お知らせいたします。</p> <p>②市が保有する施設の使用料については、これまでも見直しを実施してきたところですが、今後も施設を取り巻く社会情勢や維持管理費、更新経費など踏まえながら市民の負担割合を検討し、適正な使用料を定めていきます。</p>
14	<p>①公共施設については、今後の人口規模に見合った複合化が必要不可欠です。ただし、目的地までの交通が困難な方が増えるので、交通機関の充実やリピーター増加に向けた改革が必要だと思えます。</p> <p>②施設解体の跡地には、自然が美しい秋田にふさわしく緑豊かな水と花のある老若男女が集える公園を増やしてほしいです。</p>	<p>①ご意見のとおりでありまして、施設の複合化を進めるにあたっては、ご意見を配慮した検討を行ってまいります。</p> <p>②施設解体後の跡地利用については、ご意見を参考にしながら検討を進めてまいります。</p>
15	<p>①土川地区の三世代交流館は、地域の活性化が図れる有効な施設ですが、これを新規に建設することは財政的に難しい。地域が所有している財産の活用、または地区公民館を改善した活用、近隣の空き家の活用が今後必要と考えられます。</p> <p>②行政が作成した施設管理データを基本に、地域と行政が中長期的に時間をかけて議論し結論を導く取り組みをしていただきたい。</p> <p>③地域の人口構成を適確に把握し、地域の特性(伝統文化)などにも十分配慮してほしい。</p>	<p>①②③ 地区公民館や集落会館の中には、老朽化が目立つ施設もありますが、必要性は高いと認識しております。施設マネジメントの取り組みにあたっては、地域との協議を十分に踏まえた検討を行いながら進めていきます。</p>
16	<p>①中仙公民館長野分館は、地区の住民が気軽に訪れ、コミュニティ活動の拠点である。分館とトレーニングセンターが廊下でつながっていること、ゲートボール場があることなど、1年を通して生涯学習、健康づくりの場として利用されている。マネジメント計画では、平成33年に中仙市民会館に統合し、翌年、譲渡または廃止となっているが、高齢者を対象とした各種講座や健康づくりなど、地域住民の利便性を欠くこととなるので、存続を希望する。</p>	<p>①中仙公民館長野分館は、平成4年に造られ築24年の建物です。平成34年には築30年となり、建物や設備の老朽化がかなり進むと見込まれることから、人口減少の状況や施設利用者のニーズなどを十分把握したうえで、これまで同様の運営方法に加え、近隣施設への機能移転、または地元団体への譲渡など多様な運営方法について検討を事前に行ってまいります。</p>

No.	ご意見等の要旨	大仙市の考え方
17	<p>①中仙公民館豊川分館は、今年度トイレ改修が実施され、分館利用者の喜びは想定を超えている。また、体育館は、平成33年解体予定となっているが、現在の使用頻度に鑑みれば、耐震化対策や改修により、少しでも長寿命化を図っていただきたい。身近で冬季も利用できる代替施設を確保してから解体を検討してほしい。</p>	<p>①中仙公民館豊川分館は、昭和53年に造られ築38年の建物です。平成28年度に以前から要望があったトイレの水洗化に伴う改修工事を実施しています。しかしながら、建物全体の老朽化が進んでいることから、今回の計画では平成32年度に大規模改修を行い、今後も長く使えるように長寿命化を図っていくマネジメント計画になっています。なお、付帯の体育館については、現在のところ大規模改修後に解体する計画となっていますが、建物の老朽化の進み具合や利用者の必要性など地域住民の意見等を十分踏まえながら検討し、場合によっては計画の見直しを行っていきます。</p>
18	<p>①中仙公民館鑓見内分館は、鑓見内地区の住民以外にも国道沿線という利便性の状況から、他地域の利用者も多い特徴がある。高齢者も、子どもや若者も、広い年代で利用できる施設であることを考えれば、譲渡でなく存続が望ましい。</p>	<p>①中仙公民館鑓見内分館は、平成10年に造られ築18年の比較的新しい建物です。築30年を迎える平成40年頃には、建物や設備の老朽化がかなり進むことが見込まれることから、現段階としては、施設の利用実態を踏まえ、今後も長く使えるように改修を行い地元団体等に無償譲渡する計画です。しかしながら、今後の社会情勢や施設利用者のニーズなどを十分把握したうえで、譲渡に加え、これまでと同様の市の運営など、様々な方法について検討を事前に実施し、計画に反映していきます。</p>
19	<p>①八乙女交流センターの体育館の床面が、経年劣化により全面改修が必要です。また、電話が通信できないと利用者から苦情が多々あるので、インターネット(Wi-Fi)の環境整備を早く行う必要があります。</p> <p>②野球場のトイレの洋式化の要望があります。また、マウンドの高さを正規な高さにする必要があります。</p> <p>③テニスコートは、20年以上経過しているので、コートが剥げてきており、張替を近々に必要としています。</p>	<p>①八乙女交流センターは、平成19年に大規模改修によりリニューアルオープンした施設です。今後も補修や改修等を実施しながら長寿命化を図っていきます。</p> <p>②八乙女球場は、平成28年度から4カ年計画でベンチの改修やトイレの洋式化の改修を行っていきます。</p> <p>③八乙女運動公園テニスコートは、定期的な補修等を行いながら、できる限り長く施設が利用できるよう維持管理していきます。</p>
20	<p>①活用しなくなった施設を解体し更地にするためには、お金がかかります。出来れば、旧小種小学校を活用している農事組合法人エコファームのように、施設を活用する団体等が都会から呼び込めれば良いかもしれません。無料で貸し付けする方法も良いと思います。</p>	<p>①ご意見のとおりでありまして、小中学校の統合に伴った廃校など行政として使用しなくなった施設については、行政以外の利活用も含めた検討を進めていきます。</p>
21	<p>①人口減少など、時代の流れで公共施設の減少は必要かもしれないが、地域に必要な施設はぜひ残してほしいです。</p>	<p>①地域住民の皆さんの意見等を十分把握しながら、今後の大仙市にふさわしい公共施設のあり方の検討、または建物・設備の維持更新等を計画的に実施していきます。</p>

No.	ご意見等の要旨	大仙市の考え方
22	①空きスペースの有効活用として、団体等への貸し出しをお願いします。	①市が保有する公共施設の中には、社会情勢や利用者ニーズの変化などによって、空きスペースが有る施設が実在します。このことから、各支所の庁舎の空きスペースについては、地域の団体等に貸し付けして有効活用することを順次進めています。この取り組みを今後も強化していきます。
23	①南外ふるさと館は、平成35年に譲渡又は売却の計画になっているが、長年にわたり地域の老人福祉と住民生活の憩いの場で、必要性の高い施設だと思っています。 ②大曲地域を除く地域は、公衆トイレが概ね必要数設置されているが、大曲地域はそうでない。今後、花火産業構想を目玉として観光面に力を入れていくことを考えると、公衆トイレの設置をぜひ検討していただきたい。	①南外ふるさと館は、温泉機能を今後も維持していく方策の一つとして、民間を活用とした経営にシフト転換することを検討する計画としています。温泉宿泊の場をなくす計画でないことをご理解願います。 ②大曲地域の今後の周辺整備にあたっては、様々なご意見を含めた検討を行いながら進めていきます。
24	①仙北中学校隣接の剣道場(仙北武道館)は、昭和51年に建てられ40年経過している。現在、子供たちは練習前にぞうきんがけをして心を込めて掃除してから使用している。全面検討は難しいと思うが、一部改修をしながら、今後10年間は将来検討期間として考えてはどうか。特に、雪国としては、屋根の補修が早急に必要と思うがどうか。	①仙北武道館(剣道場)は、昭和51年に造られ築40年の建物です。同じエリアには仙北第二武道館(柔道場)が隣接しています。ほかに大曲武道館があることから、市内には3つの武道館が存在しますが、いずれも築35年以上を経過しているため老朽化による施設更新が課題となっています。現在、大曲武道館の平成31年の建て替えに向け、施設規模などについて検討中でありますが、併せて仙北武道館、仙北第二武道館の建て替えや改修、統廃合など将来の方向性について十分検討し、今回の計画に反映していきます。
25	①文化遺産的ハコモノは存続していただきたい。また、ハコモノが存在する地区での有効活用や譲渡は必要だと思うので、その際は地域の方々と十分に検討を重ねてもらいたい。 ②使わないハコモノはすぐに解体せず、民間企業への貸し出しなどの活用について、少し時間をかけて検討してもらいたい。	①ご意見のとおりでありまして、ハコモノの有効活用などについては、地域の皆さんと協議しながら最も良い方法を進めていきます。 ②市が不要となったものの、安全性が確保できるハコモノについては、企業や団体、地域を含め、貸付や譲渡等の活用についても十分検討を進めていきます。